第228号　　令和６年８月１日

かくだ市議会だより

第427回定例会

■概要・質疑 …… 2
■常任委員会 …… 3
■議案審議結果 …… 4
■一般質問 …… 5～11

角田市議会から

■令和５年度政務活動費収支報告 …11
■議会日誌 ……11
■救命救急講習会 ……12

【今号の表紙】『西根田んぼアート』

「羽生結弦さんと白龍」が鮮やかに見えてきました。特に「ゆきあそび」（白い部分）が綺麗に見えます。８月のお盆には３種類の穂波に色が現れるとまた違って見えます。９月になると黄金色のアートに変わり、四季折々のアートを楽しむことができます。

≪撮　影≫西根田んぼアートを楽しむ会　さん
撮影日：2024年７月16日　　場　所：角田市高倉

表紙写真・イラスト等募集しています

11月１日号の応募は９月24日（火）まで

詳細は角田市ウェブサイト内「かくだ市議会だより表紙写真･イラスト募集」をご覧ください。

第427回 定例会 6月

第427回定例会は6月7日から6月25日までの19日間の会期で開かれました。

市長から提案のあった条例の改正、定額減税補足給付金支給に係る補正予算などの議案21件を審議し、原案のとおり可決・承認しました。

また、一般質問では、11人の議員が、市政全般にわたり論戦を繰り広げました。

議案第45号 角田市子ども・子育て会議条例の一部改正

こども基本法(※)に規定される市町村こども計画を策定するにあたり、所要の改正を行うもの。

(※)こども施策を総合的に推進することを目的として制定された法律

問 ①現行の子ども・子育て支援事業計画と②改正案のこども計画の違いは何か。

答 ①は、子ども・子育て支援法に基づく単体の計画であり、②は、こども基本法に基づき、子ども・子育て支援事業計画をはじめ、複数の計画を包含した計画である。

議案第52号 宮城県後期高齢者医療広域連合規約の変更

令和6年12月2日以降、現行の保険証が発行されなくなり、マイナ保険証に移行することから、宮城県後期高齢者医療広域連合より規約の変更について協議及び議会の議決を求められたもの。

問 マイナ保険証を持っていない方への対応策は。

答 現行の保険証に代わる「資格確認書」が送付されることとなる(申請不要)。「資格確認書」を医療機関・薬局の窓口で提示することで、従来どおり保険診療を受けることができる。

議案第47号 角田市一般会計補正予算(第2号)

教育振興費(教育支援体制整備事業) 773万円

教員の働き方を改善するため、市内各小中学校に一人ずつ教員業務支援員を配置するもの。

問 教員業務支援員の業務内容と採用条件を問う。

答 授業で使用する教材の準備、採点業務の補助、学校行事等の準備、来客や電話の対応が主な業務であり、資格・年齢・学歴は問わない。教員の業務を支援することで、教員が一層、児童・生徒への指導や教材研究等に注力できる環境を整えていく。

配水及び給水費(漏水調査業務委託料) 525万円

漏水の発生等による有収率(給水する水量と料金として収入のあった水量との比較)低下に対する効果的な調査方法として、人工衛星を活用した漏水調査を行うもの。

問 業務委託で、どのような効率化が図られるのか。

答 人工衛星から、地下2メートルまで届くレーダーを照射して得た画像と水道の管路データをAIで解析し、漏水あるエリアを半径百メートルで判定することで絞り込みができるため、3年から4年の期間を要していたところを1年程度で行うことが可能となる。

議案第50号 角田市水道事業会計補正予算(第1号)

問 業務委託で、どのような効率化が図られるのか。

答 人工衛星から、地下2メートルまで届くレーダーを照射して得た画像と水道の管路データをAIで解析し、漏水あるエリアを半径百メートルで判定することで絞り込みができるため、3年から4年の期間を要していたところを1年程度で行うことが可能となる。

? 議会のギモン

Q 「質疑」ってなに?

A 議案等の議題について、提案者である市長などに疑問点を聞くことです。

角田市議会では、定例会で質疑をする場合、議員は、あらかじめ決まった日時までに議長へ質疑内容を提出します(通告制)。質疑は一問一答で行い、持ち時間は、総時間(2時間)を通告者数で按分した時間(議員一人につき20分が限度)、3回を超えることはできませんが、常任委員会で質疑をする場合には、通告や時間・回数の制限はありません。

定例会

開会 → 提案理由の説明 → 質疑 → 付託 → 常任委員会(説明 → 質疑 → 討論・表決) → 委員長報告・質疑 → 一般質問 → 討論・表決 → 閉会

議案第40号 角田市上下水道事業運営審議会条例の制定

将来にわたり、安定した水道及び下水道事業の経営を行うため、各種計画の見直しや今後の水道料金と下水道使用料の水準について審議を行う機関を設置するもの。

議案第40号は、教育厚生建設常任委員会に付託(議会の議決に先立って詳しく検討すること)され、審査が行われました。

審議会とは、法律又は条例に基づき設置された執行機関(市長や教育委員会等)の附属機関のことです。

常任委員会での質疑

問 どのような方を委員に委嘱するのか。また、公募を行う予定はあるか。

答 持続可能な事業運営をしていくためには、経営に関する知識や経験が必要である。商工会、市内企業の代表者、水道・下水道の使用者である市民、宮城県の担当者など10人を想定しており、可能な限り男女同比率となることが望ましいと考えている。なお、公募は行う予定である。

問 客観性を持った審議会とするため、委員は市内の方に限定する必要はないと考えるが。

答 委員の人選において、審議会の客観性、あるべき姿を考慮していきたい。

問 なぜ条例制定が今なのか。令和4年度から始まった県のみやぎ型管理運営方式による事業民営化を進めるための協議の場として、審議会を設置しようとしているのではないか。

答 審議会の喫緊の課題に、水道料金と下水道使用料の改定があるほか、国からの要請による経営戦略の改定もある。広く意見をいただく必要があるため、今回、審議会を設置することになった。なお、審議会に民営化について諮問(※)することは今のところ想定していない。

※特定の事項について附属機関の意見や見解を求め、尋ねること。

本会議での討論

反対討論……八島 定雄

今回の上下水道事業運営審議会の設置によって、民営化が進み、民間事業者の参入を容易にし、民間事業者の収益の確保・増大のために、不必要な経費の増大や利用料金高騰が起こることがないことを強く求める。また、運営審議会委員は、「水道事業及び下水道事業について知識経験を有する者」としているが、ましてや、「みずむすびマネジメントみやぎ」に関連の方(退職者を含む)は対象外である。

賛成討論……武藤 広一

上下水道事業の円滑な運営を図るため、上下水道事業運営審議会を設置し、組織と運営について条例を制定するもの。知識や経験を有する者、使用者等の見識を反映させ、将来にわたる上下水道事業の円滑な運営、経営の在り方、各種計画の見直し、今後の水道料金と下水道使用料の水準について、審査を行う機関を設置することは重要であり、賛成である。

皆さんからの陳情

▼北角田中学校区通学路の安全確保並びに施設整備を求める陳情

北角田地区学校教育振興会
会長 渡邊 誠

請願・陳情をされる方へ

市民の皆さんの意見や要望を市政に反映させるため、請願や陳情の制度があります。議会招集日の7日前までに提出された請願や陳情は、その定例会の会期中に審議されます。

ただし、角田市に直接関係のない場合には、不採択になる場合があります。

【様式例】

年 月 日

角田市議会
議長 ○○○○ 殿

紹介議員 ○○○○
請願者 住所 ○○○○○
氏名 ○○○○

件名 ○○○○○○○○について

1 請願の要旨
○○○○○○○○

2 請願の理由
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※陳情の場合は、紹介議員の箇所を除いて本例によってください。

請願・陳情の提出期限は**8月23日(金)**まで

詳細は市議会ホームページをご覧ください。

一般質問

一般質問とは、角田市のさまざまな課題などについて、市長や教育長などに対し、事務の執行や将来の考えを質すことです。質問は一問一答で、議員１人につき30分以内（答弁時間は含めない）で行われます。

質問した議員ごとに要約してお知らせします（その他の質問の要約は掲載されておりません。）。

詳細は、各議員名の下の二次元コードを読み込むと、録画映像をご覧いただけます。

質問議員（質問順）	質問項目	頁
湯村　勇	地域消費喚起緊急支援事業について 学校の適正規模、適正配置化について 市内イノシシ被害の対策について	6
齋藤　強	超高齢化社会を見据えた課題、対策について ごみ集積所の管理について 角田市防災・減災構想について	6
菊地　利衛	黒須市政の４年間の成果について	7
日下　七郎	生活道路　法定速度30キロに関することについて その他の質問 ・市道路線番号１１０南大坊泉田線、及び路線番号２３１寄井舘島田線に関することについて ・大和橋鳥内線の市道敷地内に設置されている宗教法人熱日高彦神社所有の鳥居等の撤去について	7
菅野　マホ	「新型コロナウイルス感染症」に係る角田市の対応：振り返りと今後について その他の質問 ・「黒須市政」所信表明から４年：振り返りと今後について	8
戸村眞喜夫	施設園芸の現状について 不登校児の学校医健康診断受診の状況について	8
小湊　毅	角田市の子ども支援、子育て支援について	9
齋藤　克敏	放課後児童クラブの利用拡充について 中高生の居場所づくりについて	9
瀧口　聖人	廃校小学校の有効活用の促進について	10
星　隆悦	角田市地球温暖化対策総合計画について その他の質問 ・令和６年度角田市まちづくり懇談会について ・角田市健康ポイント事業について	10
八島　定雄	「消滅可能性自治体」等に関連したことについて 「自衛隊への個人情報提供」、問われる自治体について	11

角田市議会雑学

一般質問の順番は、どのように決定するか知っていますか？「先着順」「議員が任意に指定」「議長の裁量」など色々考えられますが、角田市議会では「先着順に抽選（くじ引き）」で決定します（左表参照）。

では、くじは誰が引くのか。それは、議会の運営に関する事項を所管する議会運営委員会の委員長です。

※順番の決定方法は、議会ごとに異なります。

提出議員（時間）	くじを引く順	質問順
A議員（午前９時10分）	１番 ←→	４番
B議員（午前10時00分）	２番 ←→	５番
C議員（午前10時40分）	３番 ←→	３番
D議員（午前11時20分）	４番 ←→	１番
E議員（午前11時30分）	５番 ←→	２番

第427回（令和6年6月）**定例会**
インターネットライブ中継視聴者数　延べ256人

インターネット録画中継視聴者数
4月～6月　延べ464人

審議結果一覧

●賛成と反対がわかれたもの

○…賛成　×…反対　－…退席又は欠席　議長（馬場　道晴）は採決に加わらない。

提出者	議案番号	件名	審議結果（賛成：反対）	会派一心				かくだ未来倶楽部			日本共産党角田市議団		無会派（会派に所属しない議員）				
				菊地　利衛	小湊　毅	戸村眞喜夫	渡邊　誠	武藤　広一	菅野　マホ	瀧口　聖人	日下　七郎	八島　定雄	齋藤　克敏	湯村　勇	齋藤　強	星　隆悦	柄目　孝治	堀田　孝一
市長	議案第37号	専決処分の報告並びにその承認を求めることについて（角田市都市計画税条例の一部改正について）	承認（11：2）	○	○	－	－	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	議案第38号	専決処分の報告並びにその承認を求めることについて（角田市国民健康保険税条例の一部改正について）	承認（11：2）	○	○	－	－	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	議案第39号	専決処分の報告並びにその承認を求めることについて（令和６年度角田市一般会計補正予算（第１号））	承認（11：2）	○	○	－	－	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	議案第40号	角田市上下水道事業運営審議会条例の制定について	可決（13：2）	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	議案第41号	角田市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決（13：2）	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	議案第43号	角田市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正について	可決（13：2）	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	議案第47号	令和６年度角田市一般会計補正予算（第２号）	可決（13：2）	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	議案第48号	令和６年度角田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）	可決（13：2）	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	議案第52号	宮城県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決（13：2）	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○

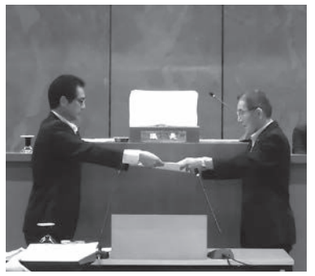
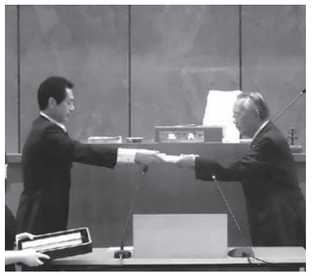
●全員が賛成したもの

提出者	議案番号	件名
市長	議案第35号	専決処分の報告並びにその承認を求めることについて（令和５年度角田市一般会計補正予算（第11号））
	議案第36号	専決処分の報告並びにその承認を求めることについて（角田市市税条例の一部改正について）
	議案第42号	角田市市税条例の一部改正について
	議案第44号	角田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
	議案第45号	角田市子ども・子育て会議条例の一部改正について
	議案第46号	角田市地域包括支援センターの職員に係る基準等に関する条例の一部改正について

提出者	議案番号	件名
市長	議案第49号	令和６年度角田市介護保険特別会計補正予算（第１号）
	議案第50号	令和６年度角田市水道事業会計補正予算（第１号）
	議案第51号	令和６年度角田市下水道事業会計補正予算（第１号）
	議案第53号	令和６年度角田市一般会計補正予算（第３号）
	議案第54号	令和６年度角田市水道事業会計補正予算（第２号）
	議案第55号	令和６年度角田市下水道事業会計補正予算（第２号）

議員表彰

〈特別表彰〉
議員40年以上
柄目　孝治　議員
議員20年以上
渡邊　誠　議員
〈一般表彰〉
議長４年以上
渡邊　誠　議員
副議長４年以上
相澤　邦戸　前副議長

▲定例会の初日と最終日に、全国市議会議長会表彰状の伝達が議場で行われました。（写真左：渡邊議員、写真右：柄目議員）

一般質問

地域消費喚起緊急支援事業について

湯村　勇

一般質問の映像配信をご覧いただけます。

議員▼かくだ3割増商品券は、地域経済活動の活性化とともに、購入金額に応じて3割増し分のお得なメリットがあり好評を得ている。令和6年度もかくだ3割増商品券を発行する考えはあるか。

市長▼商工会が発行するかくだ3割増商品券の補助は、新型コロナや物価高騰による市民の経済的な負担軽減と消費喚起対策として4回実施している。4月には、角田市商工会長より、割増商品券の発行のほか、市内の中小企業・小規模事業者を対象とした支援施策の要望書提出があり、今後の財政状況を見極めながら、効果的な経済対策と消費喚起対策を検討していく。

学校の適正規模、適正配置化について

議員▼学校適正規模・適正配置化の検討は、児童・生徒、未就学児保護者の声を重視しつつ、地域住民の十分な理解と協力を得るなど、丁寧な議論が必要と考えるが、現在の進捗状況を問う。

教育長▼現在、角田市学校適正規模検討委員会で検討を行っている。3月には、検討委員会設置の経緯や児童生徒数の推移、学校施設の老朽化等の現状と課題を共有し、保護者及び未就学児保護者の意見を計画に反映するための保護者アンケート内容を確認した。5月には、保護者アンケートの途中経過の報告、角田小学校と横倉小学校、桜小学校と北郷小学校、角田中学校と北角田中学校それぞれの統合について議論のポイントを説明している。来る6月27日には、これらの議論を深め、保護者アンケートの結果の共有を図る予定である。

保護者や地域住民の理解と協力を得られるよう、各学校や各地区にて意見交換を行い、広く情報提供に努めながら検討を進めていく。

市内イノシシ被害の対策について

議員▼年々イノシシが多く出没している。安全・安心な生活を送るために、通学路付近に捕獲器の設置はできないか。

市長▼イノシシ駆除の要望があれば、現地確認ののち、角田市有害鳥獣駆除隊員連絡協議会の隊員に連絡し、箱わなを設置することとなる。市と角田市有害鳥獣駆除隊員連絡協議会で協力をして対応していきたい。

超高齢化社会を見据えた課題、対策について

齋藤　強

一般質問の映像配信をご覧いただけます。

議員▼介護予防普及啓発事業は「あまり成果がなかった」との評価だが、今後の予定について問う。

市長▼出前講座の開催、広報かくだや65歳・75歳到達時の介護・医療保険証送付時にチラシを送付し周知している。

議員▼高齢者世帯は3，718世帯、うち独居世帯は1，988世帯。総世帯数1万1，519の3分の1を占める。孤立や閉じこもりへの対策は。

市長▼配食サービス、緊急通報システムによる見守りや生きがいデイサービス、福祉タクシーなどの外出支援、地域の通いの場を育成している。

議員▼孤独死の推移は。

市長▼把握していないが、今後対策は重要と考える。

議員▼廃校を再利用して、誰でも気軽に通える高齢者の憩いの交流施設を開設してはどうか。

市長▼住まいに身近な場所で住民主体の通いの場を増やす取組をしている。廃校再利用は検討が必要。

議員▼認知症予備群の方への対策は。

市長▼介護保険証送付時、簡単に予測できるチェックリストを同封している。

議員▼認知症サポーター養成講座のほか、講習会や出前講座など幅広く開催するべきでは。

市長▼養成講座という名称で参加を敬遠する可能性があり、認知症を知る講座のような参加しやすい工夫をしていきたい。

議員▼熱中症など猛暑対策としてエアコン設置の補助制度を創設しては。

市長▼現時点では考えていない。日中の開設時間帯であれば、市内4カ所のクーリングシェルターを活用いただきたい。

ごみ集積所の管理について

議員▼ごみ集積所は、分別、のら猫やカラスによる被害、老朽化など様々な課題がある。衛生的・景観的にも鉄製のゴミBOX設置に費用を助成していくべきと考えるが。

市長▼地域づくり交付金の環境衛生活動費を活用いただき、行政区から増設や移設の要望があれば協議させていただく。

議員▼障害のある方や高齢者は、ごみ出しが困難な場合がある。個人宅にごみを収集する制度を創設すべきではないか。

市長▼要介護者などには介護支援員がゴミ出しを担ったり、シルバー人材センターに依頼もできるため周知していく。

角田市防災・減災構想について

議員▼第427回定例会の報告第6号で裏町排水ポンプ新設完了時期が6カ月先延ばしとなるが、どう対応していくのか。

市長▼契約相手方と実施工程の見直しなどの協議を行い、予定どおり令和9年度の工事完了に向け、取り組んでいく。

11人の議員が市政を問う

黒須市政の4年間の成果について

菊地利衛

一般質問の映像配信をご覧いただけます。

議員▼市長の所信表明から、重点目標などの遂行状況を質問する。まず、「角田市の新時代を生き抜く力は市民力に他ならない」とあったが、4年間で市民力は醸成され、生き抜く力になったと感じているか。

市長▼少しずつ浸透してきたと実感しているが、醸成されたと言えるまでには至っていない。

議員▼急激な少子高齢化や地域経済が疲弊する中、市民は新たな動きを待ち望み、強いリーダーシップで活気を取り戻してくれることを期待している。

市長▼行政、市長のリーダーシップへの期待を実感している。

議員▼子ども医療費、保育料、学校給食費の完全無償化が今年度から始まったが、目的は「子育て世帯の経済的負担を軽減すること」に加え、「角田市を子育ての地として選んでもらうこと」も含まれる。その意味では遅いのでは。

市長▼財源の見通しがつき、今年度から完全無償化とすることができた。

議員▼令和8年度を目標にしている産科・小児科病院復活の進捗状況は。

市長▼産科は、中核病院への働きかけで令和9年度までに分娩再開を目指すことが同病院のプランに盛り込まれた。なお、市内単独開設は不可能な状況にある。小児科は、調査・分析を行い、何らかの経済的支援により市内開設は可能と考えており、政策を検討している。

議員▼「国・県」との連携について、常磐道から東北道を結ぶ高速幹線道路の要望活動を開始して25、26年経過した。一歩も進んでいない状況を、連携という観点からどのように捉えているか。

市長▼角田山下線が全線供用開始し、山元ICから道の駅までのアクセスは向上したが、その後は成果が出ていない。状況の変化等も踏まえつつ、今年度以降、各市町と連携し要望活動を強化していく。

議員▼地域コミュニティの再生について、地域の実情を参酌し組織のスリム化などの要望に応えていく必要がある。

市長▼各種団体のスリム化などの課題に対応し、地域との連携を深めたい。

議員▼新規企業の誘致は進んだのか。

市長▼高畑北産業用地の造成工事が完了し、公募を開始した。また、角田駅西側エリアの用途地域の見直しを進め、企業誘致に取り組む。

議員▼市外への発信力を高めることについて、高校生や市民に角田の良いところをSNS等で発信してもらう制度をつくってはどうか。

市長▼連携していければと思っている。

生活道路　法定速度30キロに関することについて

日下七郎

一般質問の映像配信をご覧いただけます。

議員▼2024年5月31日の朝日新聞が「警察庁は30日、一般道路のうち速度規制がかかっておらず中央線などがない区間について、車の最高速度（法定速度）を時速30キロと改める。一般道路の法定速度は60キロだけで、狭い道路でも速度規制がなければ60キロまでの走行が可能なため、30キロを導入することで生活道路の歩行者らの安全確保を狙う。一般道の法定速度の新設は初めて。警察庁は31日から6月29日までパブリックコメント（意見公募）を実施した上で、道路交通法施行令などを改正し、2026年9月実施を目指す」と報道した。

市長は、この道路交通法施行令改正に係る報道を承知しているか。

市長▼承知している。

議員▼市道路線認定調書に、市道幹線1級・2級延長14万3，917・2㍍、その他市道延長43万5，123・6㍍、合計57万9，040・8㍍と記載されている。市道の現状に対して、市長に道路管理者としての感想を問う。

市長▼全く困ったことである。市内には、規制表示のない市道・県道を含めた一般道が多くある。時速60キロ走行が可能であったものが、突然、時速30キロになれば、大渋滞が懸念される。一方で、児童生徒が通学する学校近辺では、安全性はある程度確保される。

議員▼現状の市道幹線1級（路線数27）と2級（路線数45）の車道中央線・車道外側線の表示、市道その他（路線数910）の車道外側線の表示をしているか。

市長▼車道外側線・車道中央線の表示は、幹線道路の道路拡幅などの整備の際に設置し、生活道路等は、砂利道を舗装道路にするなどの整備の際は設置していない場合もある。

議員▼2026年9月の道路交通法施行令改正までの対応を問う。

市長▼今般の道路交通法施行令改正の動向を注視しつつ、車道中央線や車道外側線の表示は、交通量の多い1級・2級などの幹線道路や歩行者が多い街なかの道路及び学校周辺の通学路等の生活道路を優先的に対応し、未施行箇所は順次行っていく。

一般質問

「新型コロナウイルス感染症」に係る角田市の対応：振り返りと今後について

菅野マホ

一般質問の映像配信をご覧いただけます。

議員▼角田市の罹患者数（一般・学校）を問う。

市長▼令和2年9月10日から全数調査終了の令和4年9月1日までの期間で、約2千人（無症状含めず）が罹患した。

教育長▼市内小中学校では、令和3年7人、令和4年539人、令和5年183人、令和6年の4月までで116人である。

議員▼ワクチン接種の後遺症と救済措置の状況について問う。

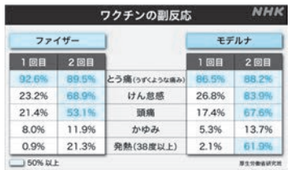
市長▼接種機会は最大7回、接種者数は令和6年5月20日時点で延べ11万1，174人。健康被害救済制度への申請者数は6人で、認定は4人（重症者3人、死亡1人）である。

議員▼接種後、体調が悪く悩んでいる方々から相談を受けるが、書類作成が難しい等の理由で申請数は非常に少ない。アンケート調査の予定や相談窓口の設置はあるのか。

市長▼アンケート調査の計画はない。

健康推進課長▼相談は健康推進課で対応させていただく。

議員▼市民一人ひとりが抱えるアレルギーや持病によって、今後接種するか否かを判断できるように、角田市は過去のデータを含め、新しいワクチンについても調査をし、接種のメリットやリスクについて情報公開をしていただきたい。



・けん怠感、頭痛は両社２回目から
・38度以上の発熱は２回目のモデルナで顕著

市長▼厚生労働省やワクチン各メーカー等が公表する各種データを適宜収集・把握し、正確な情報提供に努めたい。

議員▼今後起り得るパンデミックに備え、国外では「パンデミック条約」、国内では「新型インフルエンザ等対策政府行動計画改正」、「地方自治法の一部改正」が進み、感染症対策に統一した指示が必要と理解する一方、接種の強制や罰則につながるのではと危惧する声も多くあるが、所見を問う。

市長▼「地方自治法の一部改正案」では、国の補充的な指示は目的達成のために必要な最低限度の範囲とし、安易に行使されることがないよう事前に運用基準の明確化を図ることが必要と考える。今後も国や県の動きを注視し、情報収集に努めたい。

議員▼第418回定例会の一般質問で、担い手農家や新規就農者のために県単独事業「園芸特産重点強化整備事業」と、中小農家支援の市単独事業「角田市園芸農業促進事業」の補助率を上げる必要性を提案し、過去の実績や資材価格高騰の状況を考慮して検討すると回答を得たが、その後どうなったのか。

市長▼価格調査やＪＡ等の聞き取りを行い、新規就農者や中小規模・家族経営体を対象としたオーダーメイド型多様な農業人材支援事業を今年度創設した。既存の事業と併せて活用いただきたい。

議員▼また、使われなくなったパイプハウス資材等の流動化を図るため、中古パイプハウス等の移転（移設）助成制度の創設を提案し、適正な運用が可能か調査をし、ＪＡ等と相談・検討すると回答だった。その後どうなったのか。

市長▼中古物件の再利用に関する助成は、再設置後の有効性や耐用年数、品質保持など、補助金の対象として妥当性が問題になる。しかし、生産者の要望があり、生産拡大が図られるのであれば、引き続き、ＪＡ等と調査し協議していきたい。

不登校児の学校医健康診断受診の状況について

議員▼今年5月のテレビ放送で、近年増えつつある不登校児が学校医健康診断を受診できないリスクがあると報道されたが、市内小中学校の不登校児の状況と不登校児の健康診断受診状況を問う。

教育長▼令和5年度の不登校児童生徒数は、小学校58人、中学校89人、計147人。受診率は、内科56・5％、歯科61・9％、眼科63・3％、耳鼻科74・0％、循環器科79・1％である。

議員▼不受診率が4割前後あるが、不登校児の健康診断を受けさせる対策について問う。

教育長▼学校から家庭に文書で通知するほか、電話や自宅訪問で本人や保護者に案内をしている。また、学校で受診する際には、ほかの児童生徒と時間を分ける配慮をしている。業務委託している循環器検査を受診できなかった場合は、市内の他の学校で受診できる体制を取っている。

登校困難な児童生徒の負担を軽減し、受診できるように医師会とも相談し、先進自治体の例を参考にしながら、対策について検討していきたい。

角田市の子ども支援、子育て支援について

小湊毅

一般質問の映像配信をご覧いただけます。

議員▼子ども支援、子育て支援は、各自治体が様々な施策を行っており、施策の中心になっている。角田市でも、様々な施策を行っているが、現在行っている施策で十分であると考えているのか。

市長▼学校給食費の完全無償化を始めとして様々な施策を行っているが、まだまだ十分ではないと考えている。子育て世帯に選ばれる子育てしやすいまち日本一を目指し、これまでの経済支援策に加えて、中長期的に取り組まなければならない子育て支援策、例えば、屋内遊び場の整備、常設的なこども食堂の設置等について、今現在も「角田はっぴぃ子育て応援プロジェクト」は動いており、検討している。

議員▼子ども支援、子育て支援の施策を重点施策とすることにより、中心地の商店街を活性化する、地域を活性化するという考え方の下、実行して実現している自治体がある。最重要事項として子ども支援、子育て支援に取り組み、対応すべきではないか。

市長▼第6次長期総合計画の重点プロジェクトの施策に子育て支援の充実を掲げており、最重要事項の一つであると認識している。プロジェクトは、各課横断的に、特に今子育て中、また若い方々に集まってもらい、市中の意見も聴取をしながら進めている。「こども家庭センター」を新たに設けており、「教育支援センター」というところもできる。生まれる前から、生まれて、18歳まで包括的に支援する体制が整っていくことを想定している。

議員▼子ども支援、子育て支援において、公共のトイレは非常に重要である。子どもたちが違和感なく使えるように改修すべき箇所は改修していくべきと考える。角田市の公共トイレ全体の改修計画を作成し、実行していくべきではないか。

市長▼子どもたちが違和感なく使えるためには、トイレの洋式化、水洗化が大きいと考える。トイレの改修は、施設ごとに利用状況などを考慮しながら、現在も行っている。トイレ全体の改修計画という考えもあると思うが、トイレも公共施設の一部であるので、角田市公共施設等総合管理計画に基づいて、施設ごとの点検、検診、措置、記録といったメンテナンスサイクルによって計画的に管理していく。

放課後児童クラブの利用拡充について

齋藤克敏

一般質問の映像配信をご覧いただけます。

議員▼仕事と家庭の両立は多くの子育て世帯が悩んでいる課題である。条例では、小学校の授業日は放課後から午後6時30分まで、それ以外の長期休暇中や振替休日等は午前8時から午後6時30分まで。授業日以外の日は、朝8時以降にしか預けることができない。これが仕事と子育ての両立の足かせになっている。授業日以外の日の開所時間を午前7時30分から午後7時までに拡充する考えはあるか。

市長▼現在の開所時間では保護者の送迎が難しい現状は認識している。開所時間延長の可否も含め、調査・検討をしていく。

議員▼休職中及び育児休業中は放課後児童クラブを原則利用できない。これらの制限を撤廃する考えはあるか。

市長▼社会状況も変わっている。これについては我々も真摯に再検討する。

中高生の居場所づくりについて

議員▼角田児童クラブの定員を削減した理由の一つに、自由来館を行うためとあったが、現時点では何も周知されていない。子どもの居場所づくりは本市でも推進すべき取組だが、考えを問う。

市長▼角田児童センターの自由来館の受入れは、児童の心身ともに健やかな育成のためにも、早急に体制を整備している。

子育て支援課長▼夏休み以降、小学生からの実施に向けて整備中である。

議員▼中高校生の来館を待つのではなく、小学生と遊んだり、勉強を教えるボランティアとして募集してはどうか。役割を与えることで、来館するハードルが心理的に下がることや、自分も社会の一員として人の役に立てるという気持ちを育む一助になると考えるが。

市長▼大変すばらしい考えである。そのようになるように我々も取り組んでいきたい。

議員▼子どもの居場所づくりは、独立して行わず協力して行うことで、よりよいものになると考える。自由来館から子ども食堂へつなぐ等、ボランティア団体やＮＰＯ法人等と協力し、柔軟な対応を行う考えはあるか。

市長▼子ども食堂の果たす役割は大変大きい。本市でも、児童センター等にポスター掲示や利用者へ声掛けを行いながら周知している。さらに一歩踏み込み、各団体と連携を図っていく。

一般質問

廃校小学校の有効活用の促進について

瀧口聖人

一般質問の映像配信をご覧いただけます。

議員▼現在、市内5つの小学校（西根・小田・東根・藤尾・枝野）は廃校になり遊休施設状況にある。市長は、令和6年度角田市施政方針に関する説明趣旨で、既存施設の有効活用において「5か所の廃校舎を角田市廃校施設等利活用方針に基づき、地域との協議を進めながら関係計画との整合を図りつつ、有効活用について検討、実施してまいります。」と発言している。各地区では既に地区計画づくりに対するアンケートで結果報告書を作成したところもあり、いまだに不透明感を感じる状況にある。これらの廃校舎を有効活用し、市全般の防災拠点づくり・地域住民の憩いの場づくり・民間企業への誘致並びに施設を起業希望者への貸与等による活用活性化対策の推進をすべきである。

そこで市長に、廃校施設等利用方針に基づいた地域住民の意見並びに進捗状況を問う。

市長▼廃校施設の利活用については、地区計画づくりに対するアンケートの結果報告書をはじめ、様々な場面で地域住民の方から様々な意見を頂いているほか、角田市の考え方を示してほしいという意見も頂いている。

それらの意見を踏まえ、昨年度、廃校施設等利活用方針に基づき、5つの閉校した小学校に関する利活用の方向性を定めた。隈西の旧小田小学校と旧西根小学校の2校は、公共・公用施設として、隈東の旧枝野小学校・旧藤尾小学校・旧東根小学校の3校は、民間事業者等による活用を図っていくこととしている。

なお、個別・具体的に利活用を進める際には、改めて地域の意見を聞くこととしており、昨年度、旧東根小学校で事業者の公募を行い、優先交渉事業者を選定し、現在、契約に向けて準備を進めている状況である。

▲旧西根小学校の校舎

議員▼廃校施設等利活用を早期に進めるべきと思うが、具体的な市長の考えを問う。

市長▼先行している旧東根小学校を進めていき、これを一つのモデルケースとして他の学校についても順次利活用を図っていきたい。

角田市地球温暖化対策総合計画について

星隆悦

一般質問の映像配信をご覧いただけます。

議員▼角田市内におけるメガソーラー発電所の数と発電量を問う。

市長▼経済産業省が公表するFIT制度により認定された事業計画の数は10施設、発電量は合計で最大30メガワット（※1）である。

※1　家庭約9，600世帯の電気量に相当

議員▼角田市地球温暖化対策総合計画の目標値で、公用車を2030年度までにすべて電動車とすることについて問う。

市長▼市の公用自動車の更新基準は、軽自動車は走行距離10万km以上かつ10年以上経過、普通車は走行距離12万キロ以上かつ13年以上経過し、使用に耐えられないものに限る。この基準に合致したものから順次電動車に更新予定だが、対象車両が多く、多額の費用が発生するため、財源を確保しながら計画の目標達成に向け進めていく。

議員▼今年度、プラグインハイブリット車（※2）を3台購入予定だが、起債や国の補助金対象になるとは言え、高額な車両（約600万円）である。今は比較的安くなったハイブリット車（約200万円）で十分だと思うが、見解を問う。

※2　充電スタンドなど外部から充電できるハイブリッド車のことで、電気自動車とハイブリッド車の機能を備えている。

市長▼プラグインハイブリット車は、ウエルパーク等で充電が可能で、災害にも対応できる。初期費用は発生するが、ランニングコストは低減すると試算しており、状況を見据えて検討していく。

議員▼角田市は、太陽光発電システムにも補助金を出しているが、再生可能エネルギー固定買取り価格の低下や再生可能エネルギー発電促進賦課金に対する不満、廃棄費用等のデメリットがある。これらの懸念を含め周知を図ったらと思うが、市長の見解を問う。

市長▼固定買取り価格は、制度発足当時の2012年の10kW未満で42円／kWhが、2024年には16円／kWhまで下がった。賦課金は、2012年の0・22円／kWhが2024年には3・49円／kWhまで上昇し家庭の負担が増している。

また、耐用年数を迎えた太陽光パネルは、廃棄時に適正な処分をする必要がある。家庭で廃棄する際の対策は、ホームページに掲載し周知を図っている。

「消滅可能性自治体」等に関連したことについて

八島定雄

一般質問の映像配信をご覧いただけます。

議員▼本市を含めた県内19自治体が消滅可能性自治体のリストに公表された。市長の所感を問う。

市長▼言われて気持ちのよい言葉ではない。真摯に受け止めて、引き続き、気を引締めて市政の運営に取り組んでいきたい。

議員▼本市の合計特殊出生率が2015年実績値で1・25となっていた。その後どのように推移しているか。

市長▼前回の調査から0・04減少し、2020年で1・21となっている。

議員▼「段階的な合計特殊出生率の上昇を目指す」とある。種々の取組みを踏まえ、目標値への達成度合いをどのように見ているか。

市長▼2040年に合計特殊出生率1・80を目標としているが、現時点では依然として厳しい状況にある。

議員▼非婚率が高く、結婚数が少なければ子どもは生まれない。何らかの対策を考えるべきでは。

市長▼結婚や男女の出会いに対する施策について、近隣自治体の事例を参考にしながら、できるところから行っていくべきと考えている。

「自衛隊への個人情報提供」、問われる自治体について

議員▼これまでの自衛隊への個人情報提供の経緯（提供開始時期、提供内容等）について問う。

市長▼法律等に基づき氏名、生年月日、性別、住所の個人4情報を令和3年度から紙媒体のみで提供している。

議員▼何人の個人4情報を提供しているか。

市長▼241人分である。

議員▼自衛官等募集事務の対象者情報除外を申し出る市民からの「除外申請書」の提出はあったか。

市長▼令和6年4月22日から5月31日の受付期間で、「除外申請書」の提出はなかった。

議員▼奈良市の現役高校生が原告となり、地裁に提訴した際の「自衛隊から勧誘のはがきが届いたことはやっぱり怖いな」、家族の「自衛隊に個人情報を提供する前に、本人や保護者に自衛隊に『個人情報を提供することに同意します』との同意書を取るべきです」とのコメントをどう考えるか。

市長▼令和6年度から、情報の提供を望まない方は申し出により提供する情報から除外する措置を行っている。申し出の方法や期限等は、本市ホームページで案内をしている。広く分かりやすい周知のため、チラシ等による回覧も検討していく。

令和５年度政務活動費収支報告

会派別支出状況

会派名		会派一心	市民クラブ	かくだ未来倶楽部	日本共産党角田市議団	志政クラブ	無会派	計
4月～9月	人　数(人)	4	3	—	2	2	5	16
	支出額(円)	72,651	0	—	0	0	60,000	132,651
10月～3月	人　数(人)	4	—	3	2	—	7	16
	支出額(円)	101,198	—	68,907	0	—	31,908	202,013

10月から11月までの期間、かくだ未来倶楽部は４人、無会派は６人でした。
市議会全体で96万円交付し、執行率は34.9％でした。残額は市に返還済です。
詳細は市議会ホームページに掲載しています。

？議会のギモン

Q　政務活動費ってどんなことに使うの？

A　会派（会派に所属していない議員含む）が市政に関する調査研究をするために必要な経費の一部として使用します。会派が行う行政視察に要する経費や研修会の参加に要する基準を満たしている経費にのみ使用することができます。

議会日誌

5月

1日　かくだ市議会だより第227号発行
17日　救命救急講習会（議員研修会）
31日　第427回定例会招集告示
　　会派代表者会議

6月

4日　議員協議会・議会運営委員会
7日　本会議（第1日）
11日　議会運営委員会
18日　本会議（第2日）
　　会派代表者会議
19日　教育厚生建設常任委員会
20日　議会運営委員会
21日　本会議（第3日）・議員協議会
24日　本会議（第4日）
25日　議会運営委員会
　　本会議（第5日）
　　議会運営委員会
　　議会だより編集会議

7月

22日　議会だより編集会議

救命救急講習会～いざという時のために～

５月17日、角田消防署から講師をお招きし、角田市議会議員を対象とした救命救急講習会を市役所301会議室で実施しました。

講習会では、けが人や急病人への手当ての仕方について、講師から説明を受けました。

その後、AED（自動体外式除細動器）と練習用の人形を用いた救命処置を行いました。胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸、AEDの装着方法などについて、講師の指導を受けながら実践的に学ぶことができました。

【写真上段】講師から説明を受ける様子
【写真下段】講師の指導のもと、救命処置を行う様子

角田市公共施設のAED設置場所

AEDの使い方を、職場や学校、地域の集まりなどで学んだことがある方は多いと思いますが、AEDが市内のどこに設置されているかを知っている方は少ないのではないでしょうか。

市内38カ所の公共施設には、AEDが設置されており、市のホームページに掲載しています。皆さん、この機会にぜひ確認をしてみませんか？

角田市　AED　検索

編集後記

第427回定例会の私の一般質問で、市長は立候補の決意に至った理由として「第６次長期総合計画が未だ道半ば、責任者としてしっかり実行して成果をあげたい。」と答弁しました。そして「今の阿武隈急行線を存続することが、私が一番目にやらなければいけないことだ。」と覚悟を表明されました。大いに期待したいところです。

これから始まる黒須市政の４年間、私たちは市民の代表として、市政を厳しくチェックしつつ、市の発展と市民の幸せのために、協力して参りたいと思います。

議会だより編集会議
委員　菅野　マホ

９月定例会の予定

会期
８月30日（金）～９月26日（木）

本会議の日程（午前10時開会）	
８月30日	市長の所信表明・提案理由の説明
９月10日	質疑・自由討議
18日	会派代表質問・討論・表決
24日	一般質問
25日	一般質問
26日	最終日

●決算審査特別委員会は
９月10日・11日・18日・19日・20日に開催

※日程は変更になる場合があります。
※本会議と決算審査特別委員会はライブ配信を行います。

議会だより第227号（5月号）アンケート結果

アンケート結果の一部をお知らせします。（モニター８名）

議会だよりのどのような記事に関心がありますか。（複数回答）

①定例会の議案審議	６人
②常任委員会や特別委員会の議案審議	１人
③定例会の審議結果	５人
④一般質問	８人
⑤定例会以外の議会活動（視察や研修など）	２人
⑥表紙の写真	２人
⑦次回の定例会の日程	０人
⑧関心のある記事は特にない	０人

第227号から、一般質問は議員ごとに二次元コードを掲載しています。

詳細は市議会のホームページをご覧ください。

VEGETABLE OIL INK
環境に優しい植物油インキを使用しております。
UD FONT
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
印刷／佐藤印刷株式会社

発行：角田市議会　編集：議会だより編集会議
〒981-1592　宮城県角田市角田字大坊41
TEL（0224）63-2124 FAX（0224）62-4829　E-mail：gikai@city.kakuda.lg.jp